

みんなの学校「大空小学校」へ

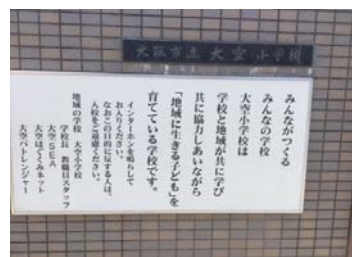
大阪の図書館で調べものがあり、その際に駆け足で「大空小学校」まで足をのびした。地下鉄御堂筋線の「長居駅」で降り、JR 阪和線の高架沿いを歩いた。長居に「キンチョースタジアム」がある。講義で「キンチョーの冬」と言ったことを思い出した。



しばらくして「大空小学校」に着いた。映画で見た校舎、グラウンドをぐるりと回った。開校 10 年というから、校舎は新しい。なんだか開放的であり、正面に「みんなの学校 大空小学校」と大きく表示されていた。日曜午後だったが、グラウンドは生徒や父兄らで賑わっていた。名古屋の自宅近くの学校と違って、活気のようなものを感じた。



門の横に次の掲示が。「みんながつくる みんなの学校 大空小学校は 学校と地域が共に学び 共に協力しあいながら 「地域に生きる子ども」を 育てている学校です。」



いちばん感心したのは、その横の「～ 学び・感動・愛～ OZORA」12月号。「大人も変わる」という市場達朗校長。今年のテーマ「自分も人も大切にすること」を子どもたち一人一人がしっかりと心に刻み、平和の学びにつなげていきます。そして学んできたことを自分の言葉で、自分らしく伝えます、と。



11月12日「みんながつくる みんなの 11th 大空ふれあいコンサート」がカラー写真で紹介されている。テーマは「心と心をつなげよう あふれる笑顔 輝くいのち」とある。

その下には12月行事予定。6・7日にはリーダーである6年生の台風接近のため順延になっていた修学旅行。原爆資料館や被爆者の方から平和について学ぶ。そのほか多くの行事が書かれている。15日は「学校に行く DAY 見守る DAY」など。「地域の学校」として、大空小学校が地域とのつながりを大切にしているのがわかった。大空小学校のホームページをみて感心したが、こうして学校を直接見て、その「情報発信力」を実感できた。

(2016年12月21日)